

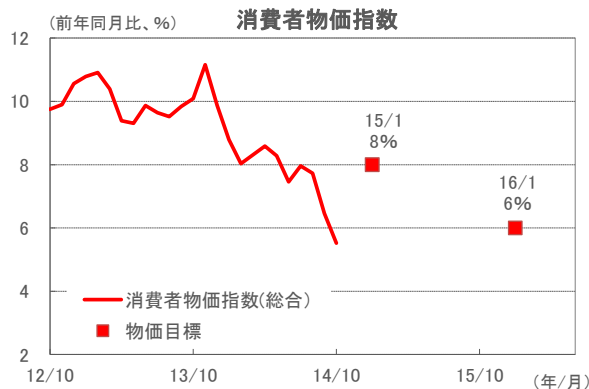
今日のトピック インドの金融政策(2014年12月)

政策金利を据え置き、来年早い時期の利下げを示唆

ポイント1 5会合連続の据え置き

物価の落ち着きにより利下げへ

- インド準備銀行(RBI)は2日、政策金利(レポ金利)を8.0%に据え置くことを発表しました。据え置きは市場予想通りであり、今年1月に利上げが実施されて以降5会合連続です。
- RBIは声明文で、物価上昇率の低下傾向などが続けば、2015年の早い時期に利下げすることを示唆しました。

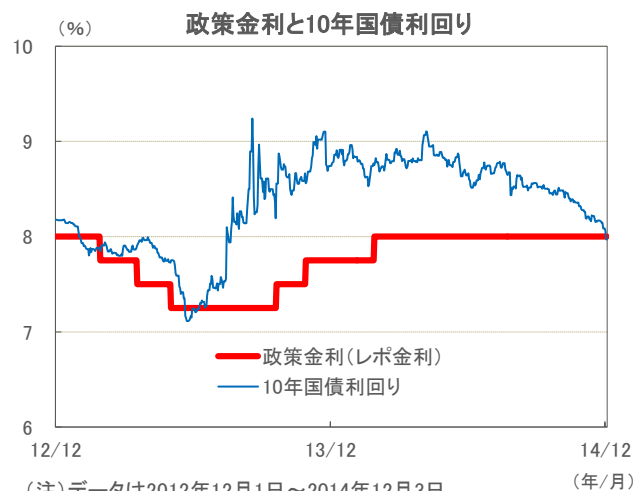


(注) データは2012年10月～2014年10月。物価目標はインド準備銀行による。
(出所) Bloomberg L.P.、インド準備銀行のデータを基に
三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 物価見通しを下方修正

経済成長率の見通しは維持

- RBIは、足元での原油価格の下落などを受けて、物価見通しを下方修正しました。天候要因により、物価上昇のリスクがあるとしながらも、消費者物価上昇率は、2015年1月時点の目標の+8%を大きく下回る見通しです。
- 経済成長率の見通しは、2014年度(2014年4月～15年3月)を年+5.5%で据え置きました。RBIは、資源価格の下落や企業信頼感の改善により、経済成長率が今後上昇に向かうと見ています。



(注) データは2012年12月1日～2014年12月3日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 利下げは製造業の発展を目指す「モディノミクス」の支援材料に

- 原油価格の下落により、経済情勢は好転しています。原油価格の下落は、経常収支や財政収支の赤字の縮小、輸送費や材料費の低下要因となることから、景気にプラスとされます。
- RBIは、物価が落ち着いていることなどを条件に、2015年の早い時期の利下げを示唆しました。利下げは、製造業の発展を主に目指す「モディノミクス」の支援材料となりそうです。
- ルピーは、日銀による強力な金融緩和により、10月後半以降対円で上昇基調を強めています。利下げは見込まれるものの、日銀の強力な金融緩和が続く見込みであることから、ルピーは対円で底堅く推移しそうです。

ここも チェック!

2014年11月18日 最近の指標から見るインド経済(2014年11月)
2014年11月11日 モディ政権の経済政策(インド)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。